山弓連会報　　さんきゅうれん 平成11．第1号　　平成11年6月1日発行

山弓連

H11.1号

ことしは良い年になりそうな……春。出だし好調

昇段・昇格者 続々誕生

山梨に二人目の範士誕生!!

元山弓連会長 中沢利正八段が五月の日弓連審議会で範士に推薦された。昨年の秋山照美範士に続いてのおめでたで、わが山梨もこれで番付に東西両横綱をいただく豪華キャストとなった。うれしい限り。

それにつづいて、今春の中央審査では（推薦も含めて）次の方々の昇段昇格が決まり、まさに豊年万作の感。この調子で、秋の収穫期には、更なる大豊作を期待したいもの。

- 教士 藤本芳朗
- 錬士 鈴木茂雄
- 六段 古屋俊彦　標興次

尚、五月の関東連合審査でも新鋭渡辺元樹がみごと五段に合格している。

（まだ学生[illegible] 大の練習嫌いだが）

おめでとう

新範士 中沢利正さん

四十年前に八段合格した時から、今か今かと周囲からも待望されていた。弓歴60年余。技の冴えは益々円熟。山弓連理事長4期8年、会長2期4年。連盟の隅から隅まで知り尽くしている。最高級の指導者として、益々ご活躍されんことを祈る。大正12年生まれの76才。（エッ・そんなトシ？）とおどろく人が多い。若さを保つコツをもみんなに教えてほしい。

新教士 藤本芳朗さん

山弓連の中で、富士吉田と共に、最も若さがみなぎる巨摩支部を支え、指導しているリーダーの一人。博学で理論派という評価が高い。また、審査部、競技部の役員として組織の運営にも抜群の手腕を発揮したことも、知らぬ者はいない。これを機に、いっそうのご精進とご活躍を祈るや切。白根町飯野、昭和10年生まれの63才。本業は名のひびいた宮大工さん。

新錬士 鈴木茂雄さん

NTT弓道部三羽烏のひとり。長い間の精進と努力がここにみのった。現職中はNTT大会や実業団大会等で活躍し、退職後は大月支部に属して（現在、支部長就任中、3期目）後進の指導にあたると共に、自らも熱心に修錬に励み、時には女子研修会にまで参加して努力を重ねたという。その一途さ、まじめさが今回の成果となった。大月市花咲。67才。

新六段 古屋俊彦さん

実力も貫禄も十分にありながら、理事長職の多忙さの為に、審査会に出席することもままならず、という事情が認められて、今回六段の推薦を受けた。

ご存じ古屋弓道一家の御曹子。五段も錬士も30才前後で取得。国体3度入賞という古強者。自身の弓技は勿論、その指導力は県下屈指と誰もが認める。ご発展を祈る。理事長2期目。66才。

新六段 標興次さん

中年から始めた弓でも努力次第でここまで登りつめる事ができるという、生きた見本。その努力には頭がさがる。県内に何組かある「弓のオシドリ夫婦」のひと組である。と共に、ふたりの子息（ともに教師）も弓を引くという弓道一家でもある。夫人の衣枝氏と共に、ことしも国体強化部で活躍中。本職は山梨県庁[illegible]部の課長さん。57才。

巨摩高・男女を制す 県高校総体

5月13・14日の両日にわたり県高校総体弓道競技会が開催され、団体戦では巨摩高校が男女ダブル優勝を遂げた。個人戦では、10位までの入賞者が男女とも8校に割れ、力の平均化の傾向がうかがえた。成績は次の通り。

○団体戦（各20射）

順	男（トーナメント的中数）	女（トーナメント的中数）
1	巨摩高（9・15・11・12）	巨摩高（8・13・9・9）
2	昭和高（11・12・12・11）	山梨高（9・5・8・7）
3	吉田高（12・7・8）	石和高（13・8・6）
4	日川高（11・9・9）	韮崎高（12・14・4）

○個人戦（各10射）

順	男（的中数）	順	女（的中数）
1	大熊 暁（上野原）10	1	功刀美幸（甲商）10
2	樋口弘典（巨ナ）9	2	小林あすか（巨ナ）9
3	斎藤陽介（甲西）9	3	金井智子（山梨）9
4	中込英二（巨ナ）9	4	渡辺加礼（吉田）8
4	上条剛央（上野原）9	5	金子美紀（甲商）7
4	仙田哲也（昭和）9	5	鈴木なつみ（上野原）7
7	山本 誠（農林）8	5	古屋[illegible]美（石和）7
7	青柳智也（日川）8	5	宮本朋子（峡北）7
7	水上高史（山梨）8	5	梅木 彩（昭和）7
7	小泉直也（甲工）8	10	石原明日香（石和）6

※1～3位までは競射により順位を決め、4位～10位は同中同順位とした。

遠的大会

4月18日武道館で開催。男女別、的中制で実施。いつもながら、参加数の少ないのが残念。ことしから、富士吉田にも遠的練習場が出来たとはいえ、施設の不足、不備が、やはり遠的人口の増加を阻んでいることは否めない。成績は次の通り。

順	男（参加19）	女（参加6）
1	佐野松雄（南北）7	山下真由美（東山）6
2	深沢 勇（中巨）6	水上梨砂（甲府）5
3	中込 実（中巨）6	佐野弥生（甲府）4

段位別選手権大会

4月25日武道館で開催。段位別四種別、各8射。全日本、関東選抜両大会の一次予選をも兼ねている為、今日の的中数は二次予選の持ち点とする。参加数は例年に比べてやや少なめ。特に五段の部は8名にとどまった。皆中優勝は称号者の部のみであった。入賞者は次の通り。

種別	一位	二位	三位
三段以下	五味麻梨子（東八）6	山本 満（南西）6	矢野宏幸（東八）6
四段	雨宮正裕（東山）6	持永浩史（医大）5	荒井寿一（吉田）5
五段	中込 実（中巨）7	坂崎満子（東山）5	山下真由美（東山）5
称号	佐野辰巳（[illegible]）8	河西伊三男（中巨）7	坂本武敏（東山）6

当日の競技参加人数は～

三段以下（22）　四段（15）　五段（8）

称号者（20）

その他、運営役員参加（12）

全日本選手権 関東選抜選手権 第二次予選会

5月30日、武道館で開催。一次予選通過者42名（但し欠席棄権があった為、実人員23名）各自8射。最初の一手を採点し、その点数と、前回を含む的中数との総合評価により、県代表を次の通り決定した。

○関東選抜選手権大会

有段の部	称号の部
矢野宏幸、渡辺元樹	白須吉人、望月寿美
荒井紀孝、酒井英司	宮崎克行、佐野辰巳
中込 実	河西伊三男
（補欠）飯野洋子	（補欠）滝沢忠

○全日本選手権関東予選会

男	女
宮崎克行　滝沢忠	望月寿美
佐野辰巳　河西伊三男	
（補欠）白須吉人	

勤労者大会予選

選手権

6月に富山県で開かれる、全日本勤労者弓道選手権大会に出場する、県代表2チームを決める為の予選会が、4月11日武道館で開催された。参加4チームによる競り合いの結果、東電山梨と松下電器甲府が代表権を獲得した。戦績は次の通り。

チーム	一回戦	二回戦	計	競射	代表
東電山梨	11	9	20		○
松下甲府	11	5	16	2	○
横河電機A	9	7	16	1	
横河電機B	7	4	11		

ねんりんピック予選

10月に福井県で開催される全国ねんりんピックの県代表を決める予選会が、4月11日に開かれた。男子は12名が参加したが、女子の参加がなく、予選の結果、男子は次の通り代表を決定したが、女子は再募集することになった。

鈴木茂雄、竹村常寿、深沢寛

中込明　小沢重平

ご健斗を祈る。併せて体調管理も十分に。

『ねんりん弓友会』

という会が発足しました。というニュースを内田聖治郎さんが知らせてくれました。

全国健康福祉祭弓道競技に選手として参加した仲間より、「ねんりんピックに県代表として、お互いに励まし合い戦った太い絆で結ばれた仲間が、戦い済んで、ハイさようならでは余りにも寂しい」という声があり、坂本致英、吉成寛、平山孚、坂崎正樹の各選手が発起人となり会結成を呼びかけたところ、大勢の方々のご賛同を得たので、会を創る運びとなった。さる四月七日、勝沼町弓道場をお借りして設立総会を開催した。会の名称を「ねんりん弓友会」と決定、会の目的、運動方針、会費等が満場一致で可決された。年令も趣味も同じ人たちばかりで、話に花が咲き楽しい総会であった。役員は、会長 吉成寛、副会長 坂本致英、書記 坂崎正樹、幹事 平山孚、内田聖治郎が選出され、総会終了後、引続き、設立記念親睦射会を行った。

今後とも、ねんりんパワー全開して、みんなに活を入れて下さい。

あとがき

○新年度発足。四月五月は、いろんな行事が集中して、猛烈な忙しさでした。県内行事が一段落して、六月からは対外行事のシーズンが始まります。県代表にきまった皆さん、山梨の名をあげるよう練習に励んで下さい。

○今年度の会報第一号を送ります。このところ会報のマンネリ化が目立ちます。作っている本人がそう思います。新鮮さを生み出す為に、地方のニュースや意見などの投稿がほしいと思っています。よろしく。

○高校総体では少年たちが、ねんりん弓友会では白髪の老人たちが、それぞれ弓道に情熱をもやし、関東選抜大会等には20才代の若者から、80才代の熟年までが選手に選出される。「弓道は、息の長い競技だ」と、また、あらためて納得させられました。「生涯の友だち」そうですね。